

## 平成27年度事業計画案について

### 平成27年度事業計画案

#### 1 相談事業

相談窓口を設置し、ボランティア活動やボランティア団体の紹介、助成制度の情報提供などを実施するとともに、研修会に参加するなどして相談員の質の向上を図る。

#### 2 財政的支援事業

##### (1) ボランティア保険の掛金助成

- ① 活動保険：ボランティア活動中の様々な事故によるケガや賠償責任を補償  
助成対象者：年間を通じて活動するボランティア  
助成内容：1人につき200円助成（掛金300円・450円／人・年）
- ② 行幸用保険：福祉活動等の様々な行事における事故によるケガや賠償責任を補償  
助成対象者：各種行事の主催者及びスタッフ  
助成内容：1人につき20円助成（掛金28円・126円／人・日）

##### (2) ⑧ 災害ボランティア活動に係る必要物品の備蓄

近年頻発する大雨等の災害に備え、ボランティア活動に必要となる物品（土嚢袋）の備蓄を行う。（別紙1）

#### 3 情報収集・提供事業

##### (1) 情報誌の発行

県内のボランティア団体についての情報を収集し、団体間の交流や、連携を深めるために「いしかわのNPO・ボランティア交流名簿」（3,000部）を作成し、配布する。

##### (2) インターネットによるボランティア情報の発信

ホームページを開設し、ボランティア情報等を発信する。

#### 4 普及・啓発事業

##### (1) 災害ボランティアによる防災活動の環境整備

- ① ⑧ 災害対策ボランティア本部設置・運営訓練の実施（別紙2）
- ② 学生等災害ボランティアリーダーの育成
- ③ 企業の災害ボランティア検討会の開催
- ④ ボランティア交流会の開催
- ⑤ 災害対策ボランティア連絡会の開催

- (2) ボランティアに関する講習会等への助成  
ボランティアの普及・啓発、活動の充実・強化のため開催する講習会等に係る講師謝金及び講師旅費を一部助成する。(上限5万円)

## 5 県受託事業

- (1) NPO活動支援センターの管理、運営
- ① センターの管理、運営業務
  - ② NPOに関する相談業務
  - ③ あいむ運営会議（利用者会議）の開催業務
  - ④ NPO等の備品調達コーディネート業務
- (2) 災害ボランティアコーディネーターの養成
- ① 災害ボランティアコーディネーター養成研修会の開催
  - ② 災害ボランティアコーディネーターフォローアップ研修会の開催
  - ③ 災害対策ボランティア現地本部運営力向上研修会の開催

## 6 管理費

- (1) 理事会・評議員会の開催など
- (2) NPO活動支援センター機器利用に係る管理  
コピー機、プリンター、印刷機の消耗品購入及び管理

## ⑧ 災害ボランティア活動に係る必要物品の備蓄

### 1 目的

近年頻発する大雨等の災害に備え、ボランティア活動に必要となる物品の備蓄を行う。

### 2 今回備蓄を行う物品及び数量

土嚢袋 10,000枚

#### 【備蓄理由】

土嚢袋は、災害発生時に大量かつ迅速に調達することは、困難であり、災害ボランティア現地本部の設置主体である市町の社会福祉協議会においても、当該物品の備蓄を行っていないため、現地本部を速やかに設置するための支援物品として備蓄を行うもの

### 3 事業費

160千円 (16円/枚×10,000枚=160,000円)

(参考) 災害ボランティア活動必要物品の備蓄状況

(H27.3.16現在)

備蓄場所	備蓄物品名	アルファーマ (1箱50食分)	軍手	ゴミ袋
旧金沢西高等学校体育館 (金沢市)		40箱	1,800双	3,000枚
石川県航空消防防災室 (小松市)		20箱	1,500双	6,000枚
石川県中能登総合事務所 (七尾市)		20箱	1,800双	3,000枚
石川県奥能登総合事務所 (輪島市)		20箱	1,800双	3,000枚
合計		100箱	6,900双	15,000枚

## 新 災害対策ボランティア本部設置・運営訓練について

### 1 目的

災害時、災害対策ボランティア本部（県ボランティア本部）は、被災した市町に設置される災害ボランティア現地本部の運営支援を行う。

今年度改定した「災害対策ボランティア本部運営マニュアル」を受け、県ボランティア本部の設置・運営訓練を実施し、災害ボランティア活動が円滑・効果的に展開できるように、課題を把握し対応を検討する。

### 2 訓練参加者（予定）

県民ボランティアセンター、県社会福祉協議会、日本赤十字社石川県支部、災害対策ボランティア連絡会構成員、市町社会福祉協議会（現地本部設置）など

### 3 訓練内容（案）

県ボランティア本部の開設・運営訓練（会場は県庁会議室を予定）

- ・本部開設（会場設営など）
- ・情報収集・伝達（関係機関等との連絡など）
- ・現地本部との連携（現地組織設置など）
- ・情報発信（ホームページでのボランティア情報掲載など）

### 4 実施予定時期

10月頃

### 5 事業費

100千円（旅費、消耗品費）